

学術用語委員会

幹事 大神浩一郎

老年歯科医学は基礎から臨床まで、生命科学から社会科学まで、保健・医療・福祉の幅広い分野にわたる学術的な研究領域であり、学術用語も多岐にわたります。本委員会は、老年歯科医学学術用語の解説・整理と選択の指針を提示することを目的に活動しています。

2008年に「老年歯科医学用語辞典」を当時の学術用語委員会が中心となり作成しました。しかし、それから8年が経過し、新しい用語や、他学会との調整が必要な用語も認められたということもあり、さらなる本書の充実を図るべく用語を選定し、その解説を理事、代議員、学術用語委員の方々にご執筆いただき、昨年「老年歯科医学用語辞典第2版」を発刊いたしました。

その後も日々進歩する老年歯科医学に対応するためには、新しく生まれる用語、あるいは変化する用語に常に対応する必要があります。そのため、新出用語につきましては、用語の解説を学会誌に掲載していますので、ぜひご覧ください。また学術用語でぜひ付け加える必要があると思われる用語、あるいは今回掲載された用語の解説で加筆・修正が必要と考えられる用語につきまして、会員の皆様からのご意見を頂戴したいと考えております。ご意見を寄せられた用語については学術用語委員会で慎重に検討させていただき、次回の改訂時の参考にさせていただきます。会員の皆様のご意見をお待ちしています。